




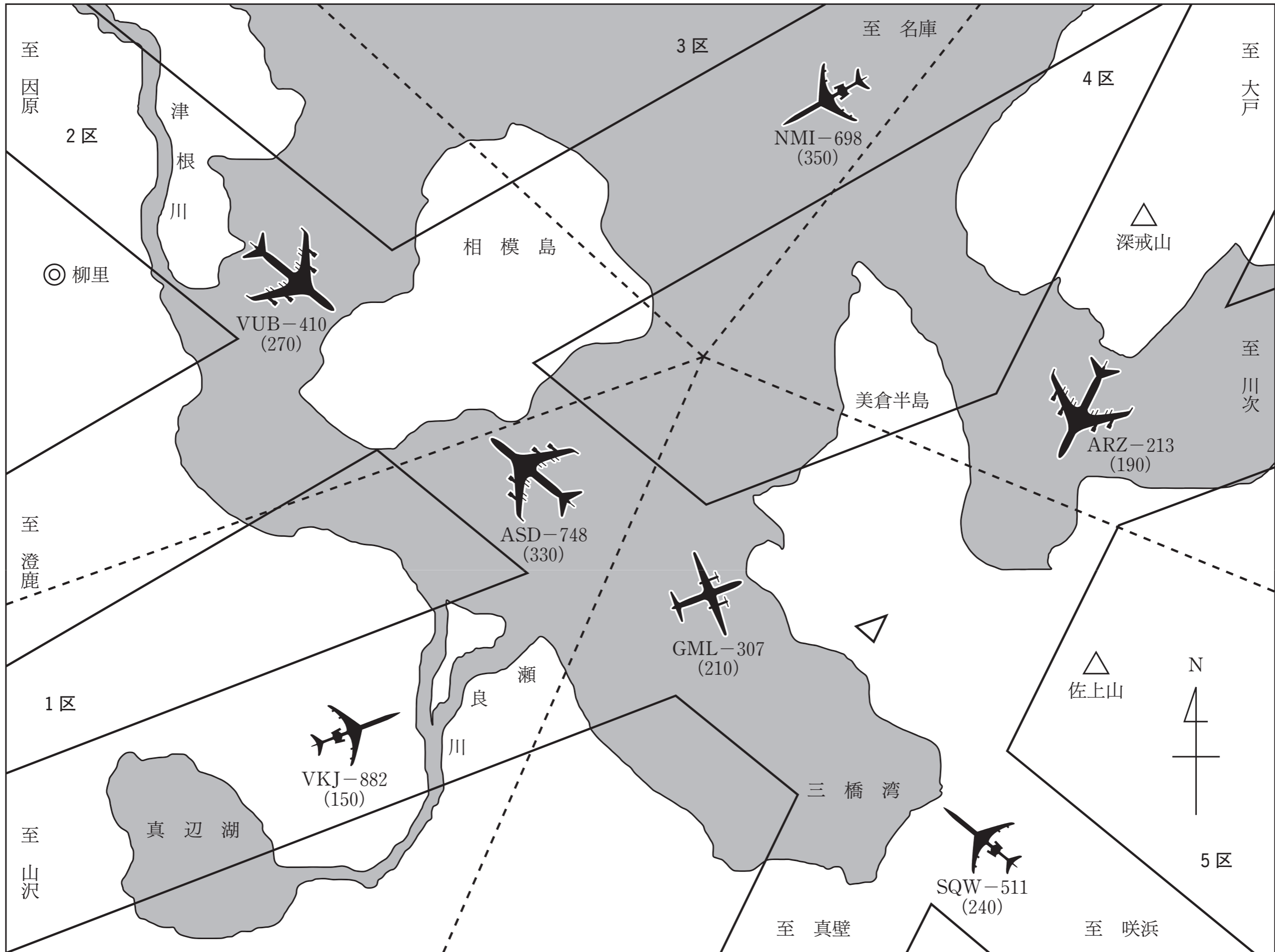
## 記憶検査問題

### 検査の説明

まず記憶図を5分間で記憶し、記憶図を閉じて一定時間を置いた後、配付された問題集に解答します。

### 記憶図の説明

1. 航空機名の下に付いている（ ）内の数字は、飛行している高度を100フィート単位で表しています。例えば、(200)は、20,000フィートを示します。なお、航空機は水平に直進飛行中とします。
2.  は、図面を5区域に分けている境界線です。
3.  は、航空路を表します。
4.  は、海、川又は湖を表します。
5. △ は山を、◎ は町を表します。



---

問題

---

【No. 1】 GML-307は何区を飛行中か。

1. 1区            2. 2区            3. 3区            4. 4区            5. 5区

【正答 5】

【No. 2】 NMI-698がそのまま直進すると、どこの上空に達するか。

1. 「佐上山」            2. 「相模島」            3. 「瀬良川」  
4. 「真辺湖」            5. 「三橋湾」

【正答 2】

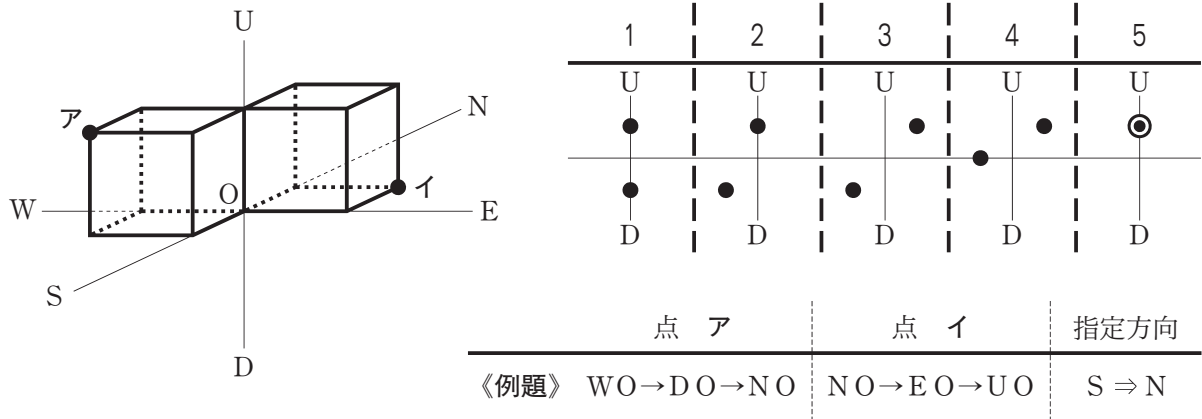
【No. 3】 最も低い高度で飛行中の航空機の高度はどれか。

1. 11,000 フィート            2. 13,000 フィート            3. 15,000 フィート  
4. 17,000 フィート            5. 19,000 フィート

【正答 3】

(空間関係検査問題)

検査の説明



検査について、やり方を説明します。

この検査は、二つの立方体を指示どおりに回転移動させた後、指定方向から見ると、立方体上の点ア及び点イがどのように見えるかを判断する検査です。

上の図は、3本の軸(NS軸, EW軸, UD軸)が交点Oで互いに直交する空間を表します。この空間内に3辺を3本の軸と共有するようにして、二つの透明な立方体が位置しており、いずれの立方体も任意の軸を中心に回転移動させることができるものとします。さらに、二つの立方体はぶつかることなく移動でき、また、同じ位置を占めることができるものとします。

《例題》の「点ア WO→DO→NO」は、図1のように、点アのある立方体を、まずWO上の辺がDO上に重なるようにNS軸を中心に90°回転移動させ、次にDO上の辺がNO上に重なるようにEW軸を中心に90°回転移動させることを示しています。同様に、「点イ NO→EO→UO」は、図2のように、点イのある立方体を、まずNO上の辺がEO上に重なるようにUD軸を中心に90°回転移動させ、次にEO上の辺がUO上に重なるようにNS軸を中心に90°回転移動させることを示しています。「指定方向 S ⇒ N」は、これらの立方体をS側の遠方からNに向かって見ることを表しています。したがって、点ア及び点イがどのように見えるかを判断すると、答えは「2」になります。なお、選択肢中の「◎」は、二つの点が重なって見えることを示しています。

図1 点アのある立方体の回転移動

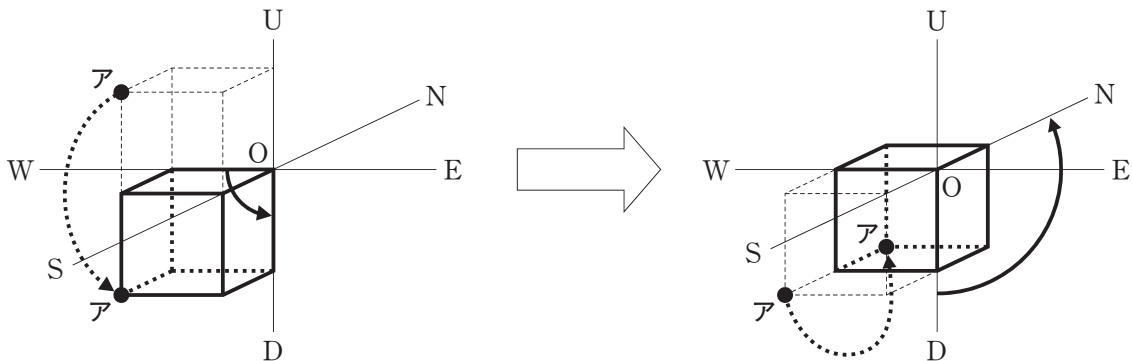
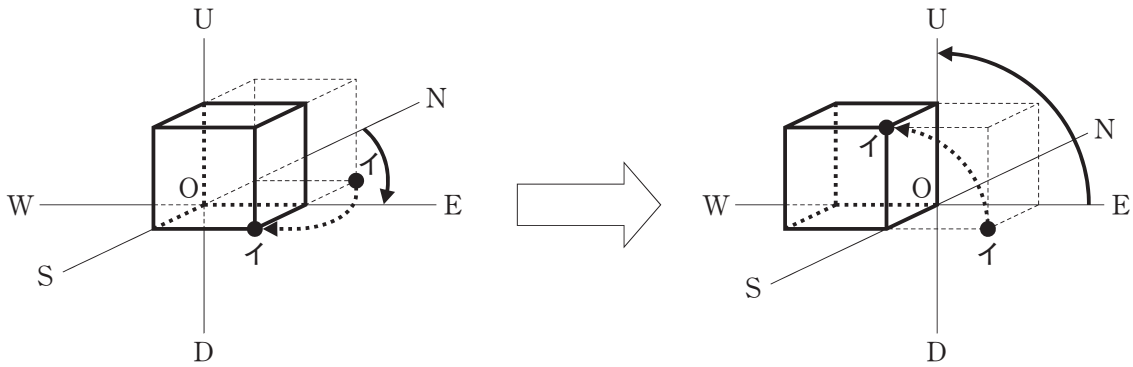
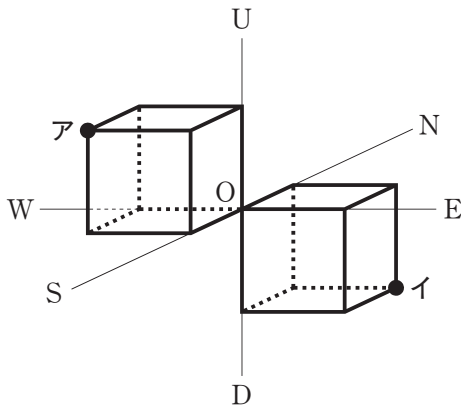


図2 点イのある立方体の回転移動



解き方が分かったら練習問題を解いてみてください。正答は右端に示してあります。

《練習問題》



1	2	3	4	5
U	U	U	U	U
	●	●	⊙	●
●	●	●		●
D	D	D	D	D

	点 ア	点 イ	指定方向	正 答
【練習 1】	WO→UO→NO	DO→SO→EO	S ⇒ N	2
【練習 2】	SO→DO→EO	NO→UO→WO	E ⇒ W	3
【練習 3】	UO→NO→EO	DO→WO→SO	N ⇒ S	5